

印紙

造林事業請負契約書（案）

- 1 事業名 向山国有林造林事業（下刈作業外3）請負
- 2 履行場所 向山国有林112い林小班外4
図面のとおり
- 3 事業内容 下刈作業 1. 15ha
改植地拵作業 5. 01ha
改植植付作業 6. 16ha
単木保護資材設置 7, 030本
- 4 事業期間 契約締結日の翌日から
令和9年2月26日まで
（ただし、作業種別又は箇所別の事業期間は、作業内訳書のとおり）
- 5 作業仕様 作業仕様書のとおり
- 6 請負金額 金 円
（うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金 円也）
- 7 選択条項
別冊約款中選択される条項は次のとおりである。
（選択されるもの○印、削除されるものは×印）

適用削除の区分	選 択 条 項	
×	契約保証金の納付	第4条第1項第1号
×	契約保証金の納付に代わる担保となる有価証券等の提供	第4条第1項第2号
×	銀行、甲が確実と認める金融機関等の保証	第4条第1項第3号
×	公共工事履行保証証券による保証	第4条第1項第4号
×	履行保証保険契約の締結	第4条第1項第5号
×	支給材料及び貸与品	第15条
×	前金払	分の 以内 第35条第1項
×	中間前払金	第35条第3項
○	部分払	月1回以内 第38条
×	国庫債務負担行為に係る契約の特則	第40条

8 支給材料及び貸与物件

品名	品質規格	数量	引渡予定場所	引渡予定月日
なし				

9 特約事項

(1) 使用材料は、別紙特約事項内訳書のとおりとし、請負者が購入する。

上記の事業について、発注者 分任支出負担行為担当官 宮崎北部森林管理署長 渡邊 健一郎と請負者 ○○○○は、各々の対等な立場における合意に基づいて、本契約書及び林野庁長官の定める国有林野事業造林事業請負契約約款及び造林事業請負標準仕様書によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、請負者が共同事業体を結成している場合には、請負者は、別紙、共同事業体協定書により契約書記載の事業を共同連帯して請け負う。

本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

令和8年 月 日

発注者 住所 宮崎県日向市大字日知屋17371-1
(甲) 分任支出負担行為担当官
宮崎北部森林管理署長 渡邊 健一郎 印

請負者 住所 ○○○○
(乙) ○○○○ ○○○○
○○○○ ○○○○ 印

【注】請負者が共同事業体を結成している場合においては、請負者の住所及び氏名の欄には、共同事業体の名称並びに共同事業体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。

【例】請負者○○共同事業体
代表者 ○○林業株式会社
住所 ○○○○
代表取締役 ○○○○ 印
○○林業株式会社
住所 ○○○○
代表取締役 ○○○○ 印
○○林業株式会社
住所 ○○○○
代表取締役 ○○○○ 印

記 番 別 作 業 内 訳 書

作業種	林小班	作業区分	区域面積 (ha)	控除面積 (ha)	契約面積(ha)	作業期間		使用材料		獣害防 止ネットの 点検・簡 易補修	備 考	その他
						自	至	品 名	数量			
下刈	112い	全刈	0.35ha		0.35ha	契約日の翌日	R9.2.26	-	-	○	上椎葉(森)	-
"	112は	"	0.80ha		0.80ha	"	"	-	-	○	"	-
小計			1.15ha		1.15ha							
改植植付	112い	普通方形植	0.35ha		0.35ha	契約日の翌日	R9.2.26	スギ (コンテナ苗)	560本	-	上椎葉(森)	-
"	112は	"	0.80ha		0.80ha	"	"	"	1,280本	-	"	-
小計			1.15ha		1.15ha				1,840本			
改植地拵	250は	組合せ	0.45ha		0.45ha	契約日の翌日	R9.2.26	-	-	-	上椎葉(森)	-
"	250に	"	0.57ha		0.57ha	"	"	-	-	-	"	-
"	250ほ①	"	1.12ha		1.12ha	"	"	-	-	-	"	-
"	250ほ②	"	0.75ha		0.75ha	"	"	-	-	-	"	-
"	250ほ③	"	0.55ha		0.55ha	"	"	-	-	-	"	-
"	250ほ④	"	0.72ha		0.72ha	"	"	-	-	-	"	-
"	250ほ⑤	"	0.31ha		0.31ha	"	"	-	-	-	"	-
"	250ほ⑥	"	0.54ha		0.54ha	"	"	-	-	-	"	-
小計			5.01ha		5.01ha							
改植植付	250は	普通方形植	0.45ha		0.45ha	契約日の翌日	R9.2.26	スギ (コンテナ苗)	630本	-	上椎葉(森)	-
"	250に	"	0.57ha		0.57ha	"	"	"	800本	-	"	-
"	250ほ①	"	1.12ha		1.12ha	"	"	"	1,570本	-	"	-
"	250ほ②	"	0.75ha		0.75ha	"	"	"	1,050本	-	"	-
"	250ほ③	"	0.55ha		0.55ha	"	"	"	770本	-	"	-
"	250ほ④	"	0.72ha		0.72ha	"	"	"	1,010本	-	"	-
"	250ほ⑤	"	0.31ha		0.31ha	"	"	"	440本	-	"	-
"	250ほ⑥	"	0.54ha		0.54ha	"	"	"	760本	-	"	-
小計			5.01ha		5.01ha				7,030本			
単木保護資材 設置	250は	設置			630セット	契約日の翌日	R9.2.26	ハイドシェルター BD アドバンスタイプ (1400mm)	630セット	-	上椎葉(森)	-
"	250に	"			800セット	"	"	"	800セット	-	"	-
"	250ほ①	"			1,570セット	"	"	"	1,570セット	-	"	-
"	250ほ②	"			1,050セット	"	"	"	1,050セット	-	"	-
"	250ほ③	"			770セット	"	"	"	770セット	-	"	-
"	250ほ④	"			1,010セット	"	"	"	1,010セット	-	"	-
"	250ほ⑤	"			440セット	"	"	"	440セット	-	"	-
"	250ほ⑥	"			760セット	"	"	"	760セット	-	"	-
小計					7,030セット				7,030セット			
合計	下刈		1.15ha		1.15ha			スギ (コンテナ苗)	8,870本			
	改植地拵		5.01ha		5.01ha			単木保護資材	7,030セット			
	改植植付		6.16ha		6.16ha							
	単木保護資材 設置				7,030セット							

【留意事項】

1. 作業種、林小班、作業区分毎に記入すること。
2. 使用材料については、品名、数量を記番毎に記入すること。
3. 各作業毎の作業方法は、作業区分の欄に記入すること。
4. 使用材料がある場合は、使用材料規格内訳書を添付すること。

特約事項内訳書

林小班	作業種	作業区分	契約面積	使用材料			備考
				品目	品質規格	数量	
112い	改植植付	普通方形植	0.35ha	スギ(コンテナ苗)	コンテナ苗 根本径 5mm 以上 苗長 35cm以上 ~ 70cm未満	560本	使用材料については各品目の品質規格同等品及びその規格品以上とする。
112は	"	"	0.80ha			1,280本	
250は	"	"	0.45ha			630本	
250に	"	"	0.57ha			800本	
250ほ①	"	"	1.12ha			1,570本	
250ほ②	"	"	0.75ha			1,050本	
250ほ③	"	"	0.55ha			770本	
250ほ④	"	"	0.72ha			1,010本	
250ほ⑤	"	"	0.31ha			440本	
250ほ⑥	"	"	0.54ha			760本	
	合計		6.16ha			8,870本	
250は	単木保護資材設置	設置	0.45ha	ハイトシェルターBD アドバンスタイプ (1400mm)	本体 1400mm 1枚 支柱 16mm×1650mm 2本 ポリカ固定リング 内径10cm 3個 66ナイロン固定ひも 幅4.3mm×長さ157mm 6本	630セット	使用材料については各品目の品質規格同等品及びその規格品以上とする。
250に	"	"	0.57ha			800セット	
250ほ①	"	"	1.12ha			1,570セット	
250ほ②	"	"	0.75ha			1,050セット	
250ほ③	"	"	0.55ha			770セット	
250ほ④	"	"	0.72ha			1,010セット	
250ほ⑤	"	"	0.31ha			440セット	
250ほ⑥	"	"	0.54ha			760セット	
	合計		5.01ha			7,030セット	

下刈作業仕様書

1. 作業方法等

(1) 人力又は人力機械併用による下刈

ア. 全刈

全刈は、区域全面を刈払うこと。

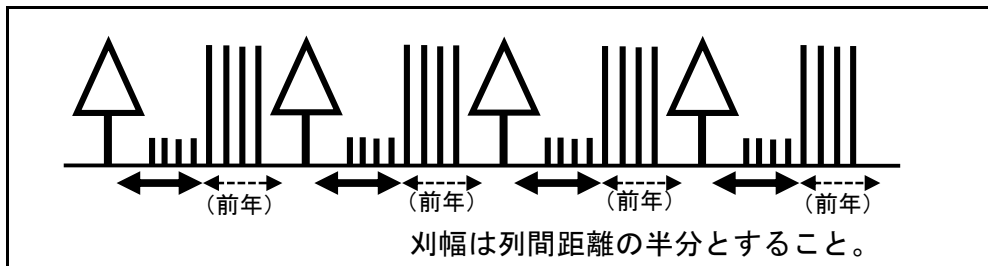
イ. 筋刈

筋刈方法は、下図①一方刈とする。

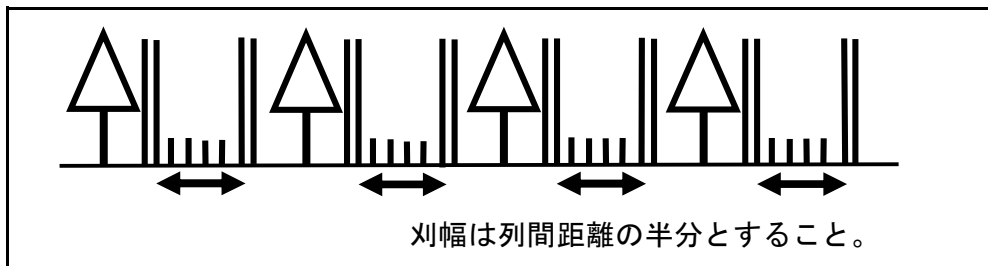
筋刈方法は、原則として等高線刈とする。

現地の状況に応じて、筋刈方法は下図②、③、④に変更できるものとする。

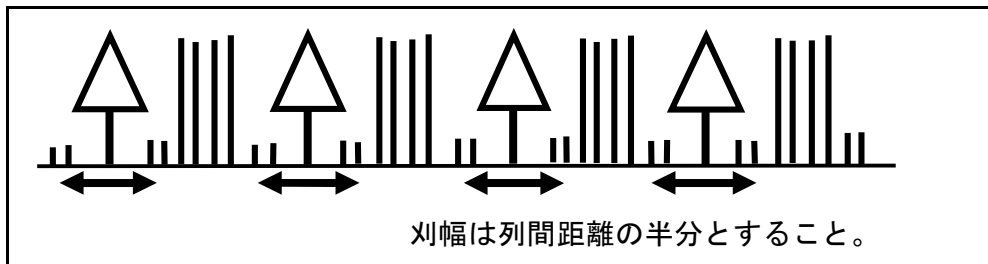
①【一方刈】



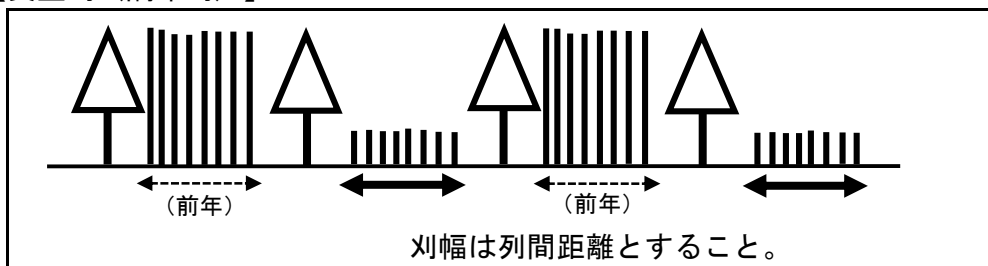
②【一方刈（改良型）】



③【両面刈】



④【交互刈（隔年刈）】



ウ. 坪刈

坪刈は、造林木を中心として、半径50cm以上を刈払うこと。

(2) 除草剤による下刈

除草剤による作業要領は、除草剤使用仕様書のとおりとする。

2. 作業上の留意事項

- (1) 刈払に当たっては、植栽木を損傷しないように注意すること。
- (2) 刈高は、植栽木の樹高の1/3以下の高さとするが、植付後1・2年の箇所は出来るだけ低く刈払うこと。
- (3) 刈払った雑草木等を植栽木に刈掛け、又は、覆いかぶせないよう注意すること。
- (4) 造林木に巻きついているつる類は、確実に根元を切断すること。
- (5) 刈払後は必ず見回り、刈払いもれがないようにすること。

3. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

特約条件

1. 下刈作業において、請負者が切損した苗木の切損率が、条件3に定める許容切損率を超える場合は、その超える率に対応した本数について、発注者は損害賠償を請求することができる。
賠償額は、別に定める賠償基準により計算した額とする。
2. 前項の賠償請求は、最終検査終了後3ヶ月以内に行うものとする。
3. 苗木の許容切損率はつぎのとおりとし、2回刈の場合は2回目終了後の累計切損率とする。

林 齢	1 年	2 年	3 年	4 年以上
切 損 率	3 %	3 %	2 %	1 %

(注) 林齢1年は、年度末植及び春植とするが前年の秋植も含むものとする。

以下、これを基準とした林齢による。

地拵作業仕様書

1. 作業方法等

作業区域内の雑草木は、保残を標示または指示されたものを除き、可能な限り地際から刈払うこと。

（1）枝条存置地拵

末木枝条等は、局部的に集積することなく全面にばらまき、できるだけ地表面に密着するよう存置すること。

（2）枝条筋置地拵

末木枝条等は、指定された方向に筋状に1 m以下の高さに棚積みすること。

この場合、適宜杭を打ち、風雪等により崩れないよう処置すること。

植巾及び末木枝条等の置巾は、監督職員の指示によること。

（3）坪地拵

植穴位置を中心として、概ね半径50 cmの雑草木を刈払い末木枝条を整理すること。

苗間及び列間については、監督職員の指示によること。

（4）組合せ地拵

同一区域内で、複数の地拵方法を組合せる場合の作業要領は、上記（1）～（3）に準ずること。

（5）機械地拵

一貫作業システムにおいて機械地拵を行う場合の作業要領は、上記（2）に準ずること。

2. 渓床の末木枝条処理

末木枝条処理がある場合は、流出のおそれのない溪流敷外に除去すること。

なお、焼却を指示した場合の火入れ手続き、作業方法等については、監督職員の指示に従うこと。

3. 立木の巻枯し

立木の巻枯しの必要な場合は、監督職員の指示により実施すること。

4. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

コンテナ苗木植付作業仕様書

1. 苗木の購入及び検収

- (1) 請負者は、発注者の指定する樹種及び規格の苗木を購入し、苗木の輸送日及び仮植地等について監督職員と協議し、仮植地又は監督職員が指定する場所において監督職員の検収を受けること。
- (2) 苗木の検収については、九州森林管理局が別途定める検収要領に基づき検収することとし、検査によって生じた本数不足及び不合格苗木については、請負者の責任において優良な苗木を確保すること。

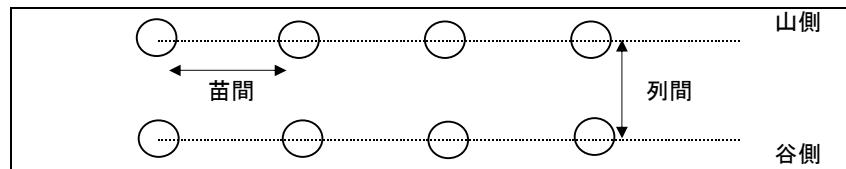
2. 苗木の管理

- (1) 検査を受けた苗木は植付場所に近い日陰で、水害等の被害の恐れのない所に保管すること。
- (2) 苗木は保管場所に立てて寄せ並べ、必要に応じ、こも、シート等で直射日光を遮断し灌水するなど、苗木の乾燥防止について十分な措置を講ずること。

3. ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	ha当たりの植付本数	植付方法	苗木の植付間隔 (水平距離) m		適用林小班等
			苗間	列間	
スギ	1,600	普通方形植	2.5	2.5	向山112い林小班
スギ	1,600	普通方形植	2.5	2.5	向山112は林小班
スギ	1,400	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250は林小班
スギ	1,404	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250に林小班
スギ	1,402	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250ほ①林小班
スギ	1,400	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250ほ②林小班
スギ	1,400	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250ほ③林小班
スギ	1,403	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250ほ④林小班
スギ	1,419	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250ほ⑤林小班
スギ	1,407	普通方形植	2.6	2.6	七ツ山250ほ⑥林小班

(平面図)



4. 植付要領

- (1) 植付地点を中心に径7cm、深さ18cm程度の植穴を掘る。
- (2) 苗木の植付けは、根鉢を植穴の底に密着させ、根元部が地表面よりやや低くなるよう垂直に植え付ける。
- (3) 側方は、根鉢と植穴との間に空隙がないように土を入れる。
- (4) 地表部は根鉢が乾燥しないよう土を被せ、倒伏を防止するため、根元を足で踏みしめ、落葉等で被覆する。

5. 作業上の留意事項

- (1) 苗木を深植することは生育不良の原因となるので、充分注意すること。
- (2) 苗木の運搬及び植付の際は、苗木が乾燥又は損傷しないよう充分注意すること。
- (3) 筋刈が容易になるよう、植栽列は等高線に沿うようにし、できるだけ孫列を作らないこと。
- (4) 植付地点が伐根あるいは岩石等で植栽困難な場合は、適宜ずらして調整することとするが、その場合、できるだけ苗間方向で調整を行い、列間方向の調整は避けること。

6. 不良苗木の取扱

作業の実施過程において、選別した不良苗木が発生した時は、生じた不良苗木本数を監督職員に報告し、不良苗木分を請負者の負担により確保すること。

7. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

ツリーシェルター設置仕様書

1. ツリーシェルターの購入及び検収

- (1) 乙は、甲の指定する品質規格のツリーシェルターを購入し、ツリーシェルターの輸送日及び保管場所等について監督職員と協議し、ツリーシェルター保管場所又は監督職員が指定する場所において監督職員の検収を受けること。
- (2) ツリーシェルターの検収については、契約図書（特約事項）の定める品質規格同等品及びその規格品以上とし、甲の指定するツリーシェルター品質規格に基づき検収することとする。また、検査によって生じた不合格ツリーシェルターについては、乙の責任において優良なツリーシェルターを確保すること。

2. ツリーシェルター設置要領

- (1) ツリーシェルター設置箇所周辺の枝条等を取り除き整理すること。
- (2) ツリーシェルター本体裏面（張り合わせ面）は斜面側に設置し穴開き部は地面向きに設置すること。
- (3) ツリーシェルター1本につき支柱は2本使用し地形・地質を考慮し等高線に平行になるよう設置すること。
- (4) 支柱は効くまで深く打ち込み、最低 30 cm 以上必ず打ち込むこと。
- (5) 固定リングはツリーシェルター本体と支柱に対して3箇所以上を基本に使用すること。
- (6) 固定リングと支柱は固定紐で確実に縛りきって固定し、ツリーシェルターの転倒を防ぐこと。
- (7) その他ツリーシェルターの設置に関する内容については監督職員の指示により実施すること。
- (8) 上記以外については、ツリーシェルターメーカーの製品取扱説明書及び設置施工図を参照し設置すること。

3. その他

その他必要な事項については、監督職員の指示に従うこと。

特約事項（造林事業）

農林水産省では、専門家による検討等を重ね、今般、野生いのししにおけるアフリカ豚熱（以下「ASF」という）の感染確認時の具体的対応が取りまとめられ、都道府県へ通知されたところ。

ASFは、ASFウイルスが豚やいのししに感染することによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病であり、ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により感染が拡大し、有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定され、患畜・疑似患畜の速やかな届出とと殺が義務付けられている。

このことから、買受者は下記の内容について順守すること。

記

1. 平時における対応について

山林での作業用の靴の履き分けや、下山時や帰宅時の靴及びタイヤの土落とし等、平時における感染防止対策に協力するとともに、野生いのししの死体発見時には管轄の自治体に速やかに通報し、当該森林管理署へ連絡すること。

2. 感染の疑いが生じた場合の対応

ASF対策として、野生いのししの感染が確認された場合の都道府県が実施する防疫措置に基づき、消毒ポイントにおける消毒の実施や帰宅後の靴底の洗浄消毒等に協力すること。

また、都道府県が行う立入制限等の防疫措置等を踏まえ、事業を一時中止する可能性があること。

なお、一時中止となった場合は、国有林野事業造林事業請負契約約款第20条により対応する。

特記仕様書等

安全確保に資する衛星携帯電話の利用について

1. 本事業は、安全確保に資する衛星携帯電話の利用に当たって共通仮設費等へ計上することができる。
2. 請負者は、あらかじめ事業現場の通話状況を確認した上で、利用する衛星携帯電話を準備しなければならない。
3. 請負者は、事業計画書提出後に準備した衛星携帯電話で試験通話を行い、事業現場において現場代理人が所有している携帯電話が通話不可及び衛星携帯電話が正常に通話できるか監督職員の確認を受けなければならない。請負者は、監督職員が通話に支障ありと判断した場合は、発注者と請負者で協議し、衛星携帯電話の変更又は利用を中止するものとする。
4. 請負者は、衛星携帯電話の利用に当たって、次の事項を事業計画書に記載し、監督職員の確認を受けるものとする。なお、事業計画書提出時に利用予定がない場合においても、後日利用を希望する際は、同様に取り扱うものとする。
 - ①衛星携帯電話事業者名
 - ②衛星携帯電話サービス名
 - ③衛星携帯電話及びこれに関連する機器類（以下「使用端末等」という。）
 - ④利用料金
 - ⑤利用期間（〇月〇日～〇月〇日まで）
 - ⑥本事業以外の事業への供用の有無
他事業名（署名・物件名）
5. 対象とする経費は、1台分のリース代金を原則とする。ただし、リース不可の場合は、衛星携帯電話の購入代金を基に損料を算出し、発注者と請負者で協議するものとする。
6. 請負者は、事業着手日から事業終了日における衛星携帯電話に関する費用の支払証明書等を提出するものとする。なお、事業終了日については、事業終了の見込み日を協議し、別途定めたみなし日とすることも可能とする。
7. 対象経費の計上に伴う請負金額の変更は、最終変更契約において行うものとする。
8. 衛星携帯電話を、本事業以外の事業地で共用することは妨げない。ただし、同一期間に係るリース料金等を本事業以外の請負契約の経費として計上することはできないものとする。また、事業途中で本事業以外でも当試行による衛星携帯電話を供用することとなった場合には監督職員に申し出ること。

特記仕様書

熱中症対策に資する現場管理費率等の補正の試行について

1 本事業は、日最高気温又は暑さ指数の状況に応じた熱中症対策に資する現場管理費率等の補正の試行を行う対象事業である。

2 用語の具体的な内容は、次のとおりである。

(1) 真夏日

日最高気温が 30 度以上の日（気象庁が公表している地上気象観測所等の気温）又は暑さ指数（WBGT 値）が 25 度以上の日（環境省が公表している観測地点の暑さ指数）。

(2) 事業期間

事業着手日から事業終了日までの期間をいう。なお、年末年始休暇分として 6 日間、7 月、8 月又は 9 月を含む事業では夏季休暇分として 3 日間、事業中止期間は含まない（事業期間には不稼働日も含む）。

(3) 真夏日率

事業期間内の真夏日を事業期間で除した割合をいう。なお、不稼働日は事業期間内の真夏日に含めないものとする。

$$\text{真夏日率} = \text{事業期間中の真夏日} \div \text{事業期間}$$

3 請負者は、契約締結後に提出する事業計画書に、事業期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載し、監督職員へ提出する。

なお、当試行に取り組まない場合は、事業計画書への記載は不要である。

4 気温の計測方法については、事業現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT 値）を用いることを標準とする。

ただし、これによりがたい場合は、あらかじめ監督職員と協議の上、気象業務法施行規則（昭和 27 年運輸省令第 101 号）第 1 条の 3 の表に基づく気象庁以外の者の行う観測の技術上の基準を満たした方法により得られた事業現場の気温の計測結果又は JISB7922 に準拠した電子式湿球黒球温度指数計（精度区分クラス 2 以上）により測定した値を用いることも可とする。

なお、計測資料の取得又は計測に要する費用は請負者の負担とするものとする。



5 請負者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。

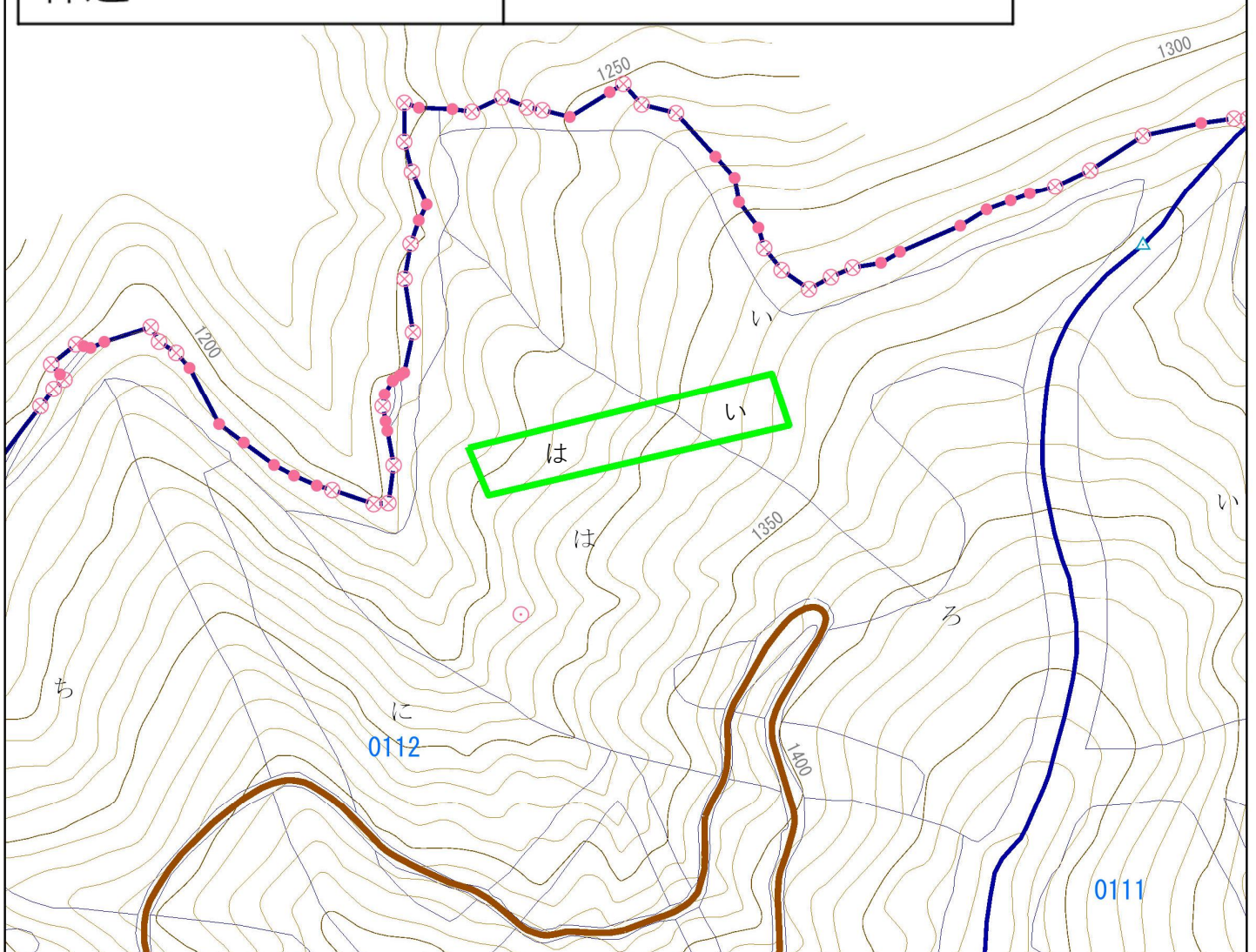
6 発注者は、請負者から提出された計測結果の資料を基に補正値を算出し、現場管理費率等に加算し請負金額の変更を行うものとする。

$$\text{補正値 (\%)} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数}^{\ast} \quad \ast \text{補正係数は 1.2 とする。}$$

令和8年度 造林事業請負箇所位置図

凡例

請負区域	
林道	






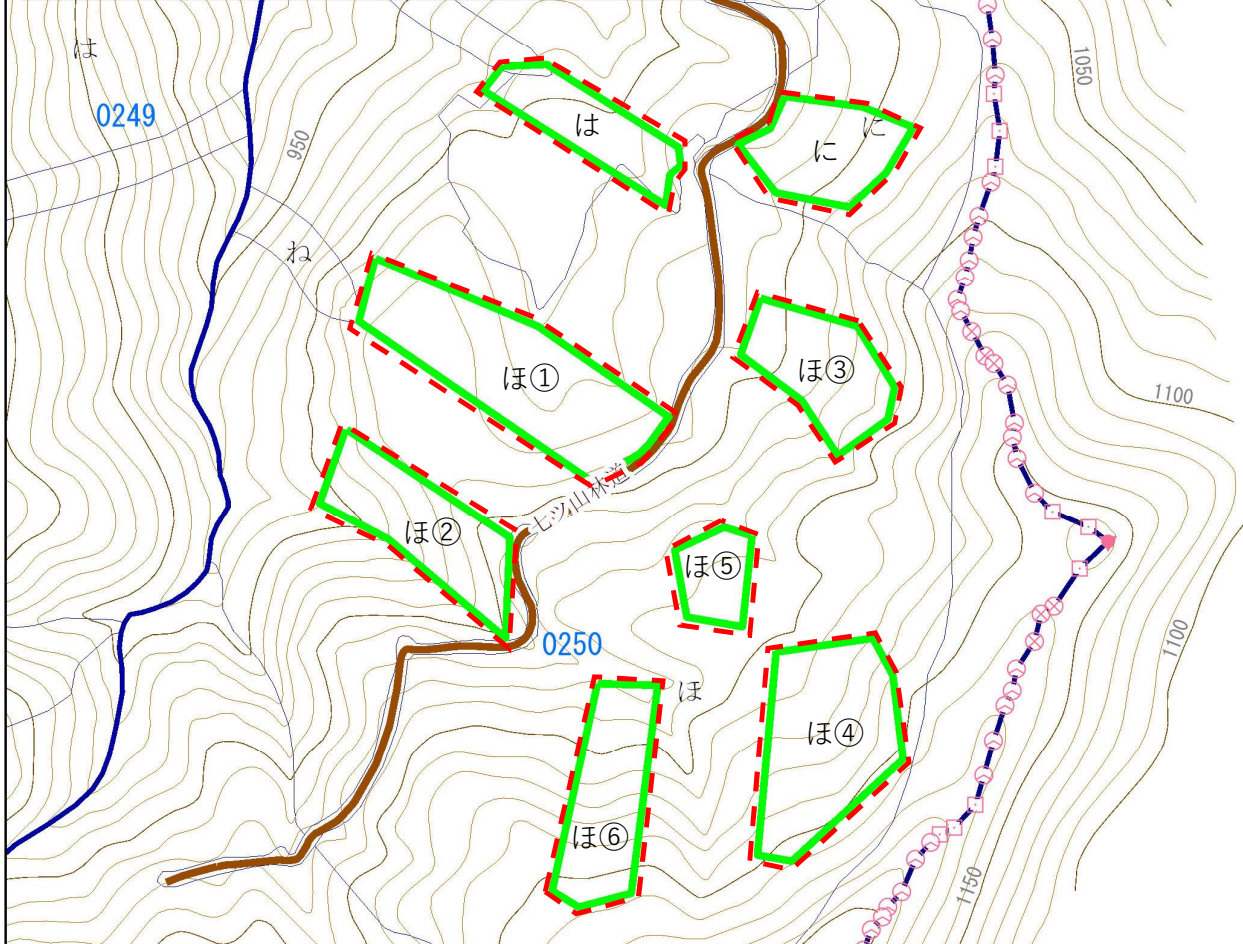
作業種	国有林名	林小班	区域面積 (ha)	控除面積 (ha)	契約面積 (ha)
下刈	向山	112い	0.35	0.00	0.35
下刈	向山	112は	0.80	0.00	0.80
改植植付	向山	112い	0.35	0.00	0.35
改植植付	向山	112は	0.80	0.00	0.80
計			2.30	0.00	2.30

0 0.05 0.1 0.2 km

1:5,000

令和8年度 造林事業請負箇所位置図

凡例	
請負区域	
林道	
単木保護資材設置	



作業種	国有林名	林小班	区域面積 (ha)	控除面積 (ha)	契約面積 (ha)	単木保護資材設置 (本)
改植地拵 改植植付	七ツ山	250は	0.45	0.00	0.45	630
改植地拵 改植植付	七ツ山	250に	0.57	0.00	0.57	800
改植地拵 改植植付	七ツ山	250ほ①	1.12	0.00	1.12	1,570
改植地拵 改植植付	七ツ山	250ほ②	0.75	0.00	0.75	1,050
改植地拵 改植植付	七ツ山	250ほ③	0.55	0.00	0.55	770
改植地拵 改植植付	七ツ山	250ほ④	0.72	0.00	0.72	1,010
改植地拵 改植植付	七ツ山	250ほ⑤	0.31	0.00	0.31	440
改植地拵 改植植付	七ツ山	250ほ⑥	0.54	0.00	0.54	760
			5.01	0.00	5.01	7,030